

(二〇二〇 国発後)

小論文

- ・問題は1～9ページである。
- ・下書き用紙は中に2枚入っている。

注意 解答は答案用紙に縦書きで記入しなさい。

小論文 二五〇点

次の文章を読んで、あとの問一〜四に答えなさい。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、 問題は掲載していません。

出典 稲垣良典『習慣の哲学』創元社 一九八一年
(出題にあたり、本文の一部に改変および省略がある。)

注一 アメリカの哲学者・心理学者（一八四二―一九一〇）

注二 著作権保護の観点から、掲載していません。

問一 傍線部アに「違った一連の用例」とあるが、「習慣」という言葉をめぐる二つの用例の違いについて、本文中の語句を用いて一五〇字以内で説明しなさい。(配点三〇点)

問二 傍線部イにおける、われわれが「この子は歩く習慣を身につけた」とか「話す習慣がついた」とは言わないという指摘は、どのようなことを示しているのか、本文に即して二五〇字以内で説明しなさい。(配点五〇点)

問三 傍線部ウで述べられる「新しい環境に『慣れる』とはどのような過程なのか、本文に即して三〇〇字以内で説明しなさい。(配点五〇点)

問四 傍線部エに関連して、「習慣」と「自己」とはどのような関係にあるのか、本文における「習慣」および「慣れ」をめぐる議論を踏まえながら、あなたの考えを六〇〇字以内で述べなさい。(配点一二〇点)